

新たにラムサール条約湿地に登録された国内湿地の概要

平成17年11月8日登録

登録湿地名	所在地	面積(ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
雨竜沼湿原	北海道 雨竜町	624	高層湿原	・国定公園 特別保護地区	北海道の中西部に位置する。山地型湿原としては我が国でも有数の面積規模を誇る。湿原の中央にはペンケベタン川が多数の池塘群と浮島を縫うように蛇行して流れている。水生、湿原性及び高山性の植物群が混交するなど自然性の高い優れた景観を呈している。
サロベツ原野	北海道 豊富町 幌延町	2,560	高層湿原、 オオヒシクイ、コハク チョウ渡来地	・国指定鳥 獣保護区特別保護地区 ・国定公園 特別保護地区及び特別 地域	北海道の北部に位置する。泥炭地上に成立した高層湿原、中間湿原、低層湿原及び沼で構成されている。低地の平野部でよく発達した高層湿原が特徴である。鳥類の重要な生息地であり、ペンケ沼及びパンケ沼周辺はタンチョウ等水鳥の繁殖地、春秋にはヒシクイやコハクチョウなどガンカモ類の重要な渡りの中継地となっている。
濤沸湖	北海道 網走市 小清水町	900	低層湿原、 湖沼、大規模 オオハク チョウ・オオ ヒシクイ等 渡来地	・国指定鳥 獣保護区特別保護地区 ・国定公園 特別地域	北海道東部に位置する。汽水湖で海跡湖である。藻場や塩性湿地が発達している。また、ガンカモ類、シギ・チドリ類等の有数の渡り鳥の渡来地である。
阿寒湖	北海道 釧路市	1,318	淡水湖、マ リモ生育地	・国立公園 特別保護地区及び特別 地域	北海道東部の内陸部に位置する。火山活動によって形成された広大なカルデラ湖である。マリモなど希少な藻類の生育地、魚類や二枚貝類の重要な生息地となっている。
風蓮湖・春国 岱	北海道 根室市 別海町	6,139	汽水湖、低 層湿原、藻 場、タン チョウ繁 殖地、大 規模キア シシギ・オ オハク チョウ等 渡来地	・国指定鳥 獣保護区特別保護地区	北海道の東部に位置する。風蓮湖は根室湾につながる汽水湖で干潟とアマモ場が発達している。春国岱は、風蓮湖と根室湾の間に形成された砂嘴であり、アカエゾマツ林やハマナスの大群落が発達している。これらの森林、草地、塩性湿地、干潟等は鳥類の良好な生息環境となっており、我が国の渡り鳥の渡来及び中継地として重要な位置を占めている。
野付半島・野 付湾	北海道 別海町 標津町	6,053	塩性湿地、 低層湿原、 藻場、タン チョウ繁 殖地、大規 模コクガン・ホ オジロガモ 等渡来地	・国指定鳥 獣保護区特別保護地区	北海道東部に位置する。野付半島は根室海峡に突き出た釣ばり状の砂嘴である。その延長は日本最大で28kmに及ぶ。野付湾は、野付半島と北海道本土との間に形成されている。湾内の平均水深は4mであり、広大な干潟及びアマモ場が形成されている。当該区域は渡り鳥の大規模な渡来地となっているほか、タンチョウの繁殖地となっている。
仏沼	青森県 三沢市	222	オオセッカ 繁殖地	・国指定鳥 獣保護区特別保護地区	下北半島の太平洋側に位置する。ヨシを優占種とする低層湿原である。オオセッカを始めとする多数の鳥類の繁殖地及び渡来地となっている。
蕪栗沼・周辺 水田	宮城県 栗原市 登米市 田尻町	423	大規模マ ガン渡来地	・国指定鳥 獣保護区特別保護地区	宮城県の北部に位置する。北上川の支流である旧迫川の氾濫源に形成された自然遊水池の沼及びその周囲の水田地帯である。マガン、オオヒシクイ、オオハクチョウ及びカモ類の越冬地として全国でも最大級の規模を持つ。
奥日光の湿 原	栃木県 日光市	260	高層湿原	・国立公園 特別保護地区及び特別 地域	栃木県の北方に位置する。戦場ヶ原、小田代原及び湯の湖で構成されている。戦場ヶ原は本州最大級の高層湿原である。小田代原は湿原から草原へと遷移過程にあり、湿原と草原の双方の特色を持っている。湯の湖は周囲3kmほどの湖で、湖底からは湯元温泉の温泉水が湧き出している。
尾瀬	福島県 檜枝岐村 群馬県 片品村 新潟県 魚沼市	8,711	高層湿原	・国立公園 特別保護地区及び特別 地域	東京の北方約70kmに位置する。尾瀬ヶ原及び尾瀬沼を中心として集水域の山岳、森林及び小規模な湿原で構成されている。尾瀬ヶ原は高層湿原を主体とする湿原としては我が国最大である。トンボ類や甲虫類の多様性も高く、周囲の山岳と湿原が織りなす景観は広大で美しく、季節により様々な花が見られるなど湿原特有の動植物に恵まれた貴重な自然環境を持つ。

登録湿地名	所在地	面積(ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
三方五湖	福井県 若狭町 美浜町	1,110	ハス等固有魚生息地	・国定公園特別地域	若狭湾沿いのリアス式海岸に所在する湖の集まりであり、三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖及び日向湖の5つの湖から成る。湖はすべてつながっているが、それぞれ塩分濃度や面積、深さが異なる。このため、5つの湖には異なる魚種が生息する。
串本沿岸海域	和歌山県 串本町	574	非サンゴ礁域のサンゴ群落	・国立公園普通地域及び海中公園地区	紀伊半島南端部周辺のサンゴ群落が見られる海域である。当該海域は黒潮の強い影響下にあり、本州中部という非サンゴ礁域に位置しながら熱帯性生物群集が豊富に見られる。特にサンゴは被度・多様性がともに高く、学術的に重要な群落が多い。
中海	鳥取県 米子市 境港市 島根県 松江市 安来市 東出雲町	8,043	大規模コハクチョウ・ホシハジロ・キンクロハジロ・スズガモ渡来地	・国指定鳥獣保護区特別保護地区	鳥取県と島根県の県境に位置する汽水湖である。様々な海藻類、魚類及び貝類が生息する。また、多くのガン、カモ、ハクチョウ類、シギ・チドリ類、猛禽類等の渡りの中継地及び越冬地となっている。
宍道湖	島根県 松江市 出雲市 斐川町	7,652	大規模マガン・スズガモ渡来地	・国指定鳥獣保護区特別保護地区	島根県の東部に位置する汽水湖である。面積は我が国で7番目に大きく、周囲は45kmある。我が国でも最大級のガンカモ類の越冬地であるとともに、食用のヤマトシジミが多く生息することで知られ、その漁獲量は日本一である。
秋吉台地下水系	山口県 秋芳町 美東町	563	地下水系・カルスト	・国定公園特別地域	山口県の中央部に位置する。日本では最大規模のカルスト地形である。地下水系は秋芳洞、大正洞及び景清洞を始めとする多くの洞窟や洞窟内の見事な洞窟生成物を作り出している。洞窟内にはコビナガコウモリ等6種類のコウモリや、アキヨシシロアヤトビムシ、アキヨシホラズミカニムシ等の洞窟性動物が生息する。地下水はホラアナミジンコ類、ミジンコ類等地下水棲貝類の種の多様性が高い。
くじゅう坊ガツル・タデ原湿原	大分県 竹田市 九重町	91	中間湿原	・国立公園特別保護地区及び特別地域	大分県の西部に位置する。タデ原及び坊ガツルの2箇所の湿原からなる。九重火山群に囲まれた盆地状の土地や山麓湧水地に形成された中間湿原である。
蘭牟田池	鹿児島県 薩摩川内市	60	ベッコウトンボ生息地	・生息地保護区管理地区	鹿児島県の北西部に位置する。標高300mに位置する火口湖である。湖の北西部はツルヨシ、マコモ等からなる低層湿原となっている。ベッコウトンボをはじめとするトンボ類が多数見られる。
屋久島永田浜	鹿児島県 上屋久町	10	アカウミガメ産卵地	・国立公園特別地域	屋久島北西部に位置する砂浜である。屋久島の海岸がほとんど海蝕崖である中で、当該区域は島内最長の砂浜である。砂浜は2つの部分に分けられ、永田川河口を挟んで南側に延長約1km、北側に延長約2kmの範囲となっている。砂浜では、アカウミガメが北太平洋で最も高密度で産卵する。
慶良間諸島海域	沖縄県 渡嘉敷村 座間味村	353	サンゴ礁	・国定公園海中公園地区	沖縄本島から20～40km西方に位置する。大小の島々からなる慶良間諸島の沿岸域である。当該区域は、よく発達した裾礁が中心となっている。海中にはテーブル状、枝状、角状、塊状、被覆状等の造礁サンゴが高い密度で分布している。また、スズメダイ類、チョウチョウウオ類、ペラ類等の色彩豊かなサンゴ礁特有の魚類が豊富に生息している。
名蔵アンパル	沖縄県 石垣市	157	マングローブ林、干潟	・国指定鳥獣保護区特別保護地区	沖縄県石垣島西部に位置する。名蔵川河口部の干潟及びマングローブ林を中心とした地域である。亜熱帯地域における典型的かつ多様な自然環境がまとまって存在している。水鳥、八重山諸島特有の猛禽類、森林性鳥類等多様な鳥類の生息地となっている。また、底生動物、甲殻類等の多様性が高い。